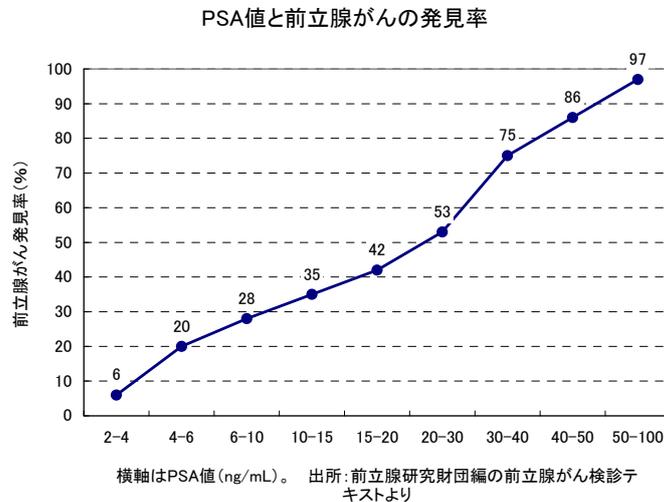


## 前立腺の病気と PSA 検査

日本臨床泌尿器科医会 2006 年 6 月作成



### ■ PSA 検査とは

PSA とは前立腺特異抗原 (Prostate Specific Antigen) の略称で、前立腺がんの腫瘍マーカーとして用いられています。

PSA 検査とは、前立腺に特異的なタンパク質である PSA の量を測定する検査です。PSA は健康な人でも前立腺から血液中に少しずつ溶け出していますが、前立腺にがんが発生すると大量に血液中に流れ出すため、PSA の量を測定することで前立腺がんの可能性をみつけることができます。

PSA 検査は 1 mL ほどの血液があればできるため、通常の血液検査と合わせて行うことができます。

### ■ PSA 値と前立腺がんの関連

PSA は前立腺にがんが発生すると大量に血液中に流れ出しますが (上記)、一般的に PSA 値が 4ng /mL 以上であれば、前立腺がんの可能性が高くなるといわれています。具体的には、PSA 値が 4~10ng /mL であれば前立腺がんの可能性が 10~20%、10ng /mL 以上であれば約 70%といわれています。

また PSA 値は加齢にともなって上昇してくるため、年齢に応じた PSA の基準値も用いられています。PSA 値が基準値より高いときは、必ず詳しい検査を受けましょう。

年 齢	PSA 基準値
65 歳未満	3.0ng/mL
65~69 歳	3.5ng/mL
70 歳以上	4.0ng/mL